

令和元年度 第2回練馬区立生涯学習センター運営懇談会 会議要録（概要）

- 1 日時 令和2年3月13日（金） 午後3時～4時
- 2 場所 生涯学習センター 第1教室
- 3 出席者 井藤委員、川井委員、中島委員、岡本委員、長富委員、田村委員、
伊藤委員、鈴木委員、山本委員、菊地委員、押田委員（社会教育主事）
（練馬区）文化・生涯学習課長
（事務局）生涯学習センター所長、副所長
- 4 欠席者 長田委員
- 5 傍聴者 なし
- 6 次第
 - (1) 挨拶
 - (2) 議題
令和元年度事業結果報告について
令和元年度施設利用状況について
令和2年度事業計画について
 - (3) その他
- 7 配布資料
 - 資料1 令和元年度事業結果報告（令和2年1月事業終了分まで）
 - 資料2 令和元年度施設利用実績（令和2年1月事業終了分まで）
 - 資料3 利用者アンケート結果
 - 資料4 令和2年度事業計画（案）
- 8 会議の概要
 - (1) 挨拶
小沼 寛幸 文化・生涯学習課長挨拶
新型コロナウイルス感染症対応について
委員任期の満了について
職員の異動内示について

(2) 議題

令和元年度事業結果報告

所長から資料1に基づき説明(内容省略)

令和元年度施設利用実績

所長から資料2に基づき説明(内容省略)

<座長> 報告の内容について、ご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

<委員> 新型コロナウイルスで事業が中止となり残念です。今までどおりの活動が続くといいと思います。

<委員> 分館利用団体としての感想です。利用者数が減少傾向との報告がありましたが、分館1階ロビーの利用者が増えている印象があります。若者がゲームをしたり、待ち合わせをしたりしているようで、事業に活かす形で取組みができればと思います。

<委員> 舞台発表促進事業の申込がなかったことは残念です。

<委員> ホームページで情報発信ができてきていることがわかりました。少しでも利用率向上につながればと思いました。時代とともに施設の役割も変わっていくと思います。需要をキャッチして事業を組み立てるのでしょうが、ちょうど事業の過渡期であることを感じました。

<委員> 去年は、台風などの影響で事業開催の制約が多かったなか、皆様のご苦勞を感じました。

<委員> 施設利用に関することです。ホームグラウンドとしての生涯学習センターの施設予約は2か月前からですが、地域集会所、リサイクルセンターは3か月前からの予約が可能です。生涯学習センターの抽選を待っていると他の施設の予約がとれなくなってしまいます。そこで、生涯学習センターが公用利用などで確実に使えない日は、できるだけ早く、遅くとも3か月前の時点で公共施設予約システムでの確認ができるようになるとありがたいと思います。

<委員> 団体内部の問題ですが、高齢化で活動継続が困難となっている団体があり課題です。また、いかにお客さんに喜んでいただけるかということも課題としていま

す。

<委員> 高齢化のなか、サークルを盛り上げようと努力をしていますが、体が動かなくなり退会ということも少なくありません。いい案があれば教えていただければと思います。

<委員> 春と秋の区民文化祭では、なかなか会場確保が難しいところ、区の協力に感謝しています。

<副座長> 高齢化の問題を社会の流れと認めていたら縮小の一途となってしまいます。むしろ、若い人をどうしたら取り込んでいけるかという視点で考えてみると、先ほどの報告で夜間の施設利用については余裕があるとのことでした。そこで、例えば攻めの姿勢で講座を夜間に行うことで仕事をしている人にも参加のきっかけと考えることも必要があるのではないかと思います。

<座長> 若い人が参加しづらいのであれば、夜間開催という案もあるでしょう。定期的に部屋の確保が難しければ、部屋の空いているところを探して開催するという考え方で工夫をしてみる手もあるかと思います。
ほかになければ、次の説明をお願いします。

利用者アンケート結果

所長から資料3に基づき説明

<所長> アンケートでのご要望への対応状況についてご報告いたします。

生涯学習センターでは、和室での椅子のご要望があり、現在の椅子に追加して購入いたしました。また、ラジカセの更新、有料コピー機のところに蛍光灯を設置しました。空調設備についてのご意見は多数いただいておりますが、大規模改修で対応して参ります。

分館では、空調設備を来年度更新いたします。一部蛍光灯の本体が故障しており、交換を進めております。

<委員> 生涯学習センター2階の展示ケースのガラス戸が重く動きません。直していただきたいと思います。

<所長> ご不便をお掛けしており申し訳ございません。大規模改修で対応いたしたいと考えております。

令和2年度事業計画について

所長から資料4に基づき説明（内容省略）

<座長> 事業計画案について説明がありました。ご質問はございますか。なければ、私から質問いたします。大規模改修で、施設が使えない期間はどうなるのかと、新型コロナウイルスの影響で春の区民文化祭ができるかどうか心配です。

<所長> 大規模改修工事については、現在基本設計を行っています。令和2年度は引き続き実施設計を行いますので、休館ということはありません。令和3年途中、6月くらいから1年以上工事による影響がある予定です。まだ、設計の途中ですのでまとまりましたらご報告させていただく予定です。

<課長> 補足をさせていただきますと生涯学習センターのホールは6か月前からの予約が可能ですが、代替施設を探していただく場合、近隣のホールは1年前から予約可能なところが多いため、4月下旬から5月はじめに、区報、区ホームページ等を通じて利用者の皆様にホールの利用については先行してお知らせしていきたいと思えます。

<座長> 令和3年度の春の区民文化祭は開催ができそうです。その後は工事の影響がありそうです。事前の調整をお願いします。

<所長> もう一点の座長からのご質問に回答いたします。新型コロナウイルス対応で事業開催についていくつかご相談を受けております。春の区民文化祭は各連盟主催事業で、区は後援となっており、事業開催にあたり、感染予防対策がとれるのか、個別にご相談させていただいている状況です。

<座長> 国の方針が変わっていく中で、区もそれに従って判断されているようです。感染者が増加している中で、多くの方に見ていただく事業のため、心配されていることと思います。

<課長> 現在の区としての方針は3月中の区主催のイベント中止までです。4月の区のイベントについての方針はまだ出ておりません。国の3月19日までのイベント自粛要請後の判断を見て、3月中旬に方針の見直しをする予定です。区の方針が示され次第お知らせいたします。

<座長> 早めの判断ができればと思います。何とか乗り切っていきたいと思います。

<委員> 新型コロナウイルスで延期する場合、会場の振替はできますか。

<所長> 会場が空いていれば変更手続きが可能です。

<課長> 中止だけではなく、延期でのご検討もいただければと思います。

<委員> 近隣の板橋区のホールでは3月上旬に3月中の施設の貸し出しは中止し、使用料は払い戻しをすることが決まりました。おそらく、3月下旬には4月の方針が示されると思います。ご参考までに。

<座長> それでは、その他でのご発言をお願いします。

<委員> 今回が、最後の出席となりますので、発言の場をいただきありがとうございます。最近気になることが、駅のホームで多くの人がうなだれているように見えることです。うつむいてずっとスマホを見ているのです。このことにすごく違和感を持っています。一方、生涯学習センターに目を移してみると猫背でできる活動は少ないと思います。姿勢が大事だと思います。スマホに使われて、頭は使っても体を使わないことがどうなのかということに気づき、デジタルだけではなく、アナログも大事なのではないかと思います。私見ですが、生涯学習センターに来て活動する。そこにお仲間がいるということにつながりができるということです。私は、生涯学習センター運営懇談会委員として4回出席させていただいて、学んだこと気づいたことがたくさんあります。学びから気づきといううれしい発見があります。皆さんも創作すること、発表することで自分としての満足感がかなりあるのではないかと思います。それをさらに人に教えることはプレゼントを渡すことと同じだと思います。まさに生涯学習センターでの活動は幸せのレシピだらけだと思います。そこに若い人たちが気づいていないことが残念でもったいないと思います。

生涯学習センターの役割の一つが場の提供となっています。生涯学習が幸せにつながるということをアピールする、啓発することで、発信していく象徴的存在それを生涯学習センターのもう一つの役割と考えます。

<委員> 生涯学習センターで、体を動かすこと。人と交流することはいいことだと思います。日々体感しています。

<座長> 学ぶことがあり、気づきがあり、仲間が増え、教える、教わる。それがそれ

ぞれ大事なことだとお話がありました。言葉を介し目を見て話すことが大事だと思います。

私は、最後の公民館運営審議会の会長を務めました。私としては公民館を残したかったところですが、幅広い活動にしようということで生涯学習センターになった経緯があります。それをもっともっと裾野をひろげていきたいと思っています。

<副座長> 事業結果をみて、定員に足りなくともそれを減らしてはいけないと思います。中身を見直してみて、中身をわかってもらえるような情報提供ができているかを見直して宣伝の仕方を考えてみることで、応募者が広がるかもしれません。例えば、民生委員は、元気な高齢者との関わりが多くあります。民生委員を通じてサークルに若い人が入れるように接点を考えていくことも必要ではと思ったりします。まず、事業を知ってもらうことから始めれば、参加してみたいという問合せにつながるかもしれないし、新規会員獲得の行動の一翼を担えるような行動もこれからますます考えていく必要を感じました。

<座長> 生涯学習センターでのインターネットを通じた情報提供の反響もあると思います。各団体では、ちらしづくりや声掛けを頑張っていきたいと思います。皆さん一生懸命活動されていて、頑張るだけではなく楽しんでもらいたいと思います。そして、これからの活動が前進できたらと思います。今回で、退任される委員の方には2年間ありがとうございました。